

2026年度第1学期 面接授業科目一覧（熊本学習センター開講科目）

科目区分	科目名	授業日	担当講師	追加登録受付期限日
専門科目:心理と教育	New やさしく学ぶ解決志向アプローチ	4月18日(土)	橋口 真人	追加登録受付期間外の開講のため追加登録は不可
		4月19日(日)	東海大学九州キャンパス学生総合支援室	
専門科目:自然と環境	極限環境と水棲生物	4月18日(土)	嶋永 元裕	追加登録受付期間外の開講のため追加登録は不可
		4月19日(日)	熊本大学教授	
基盤科目:外国語	現在のドイツ語圏を見る	4月25日(土)	小池 ウルスラ ヘレナ	4月22日(水)
		4月26日(日)	熊本大学教授	事前申請のみ
専門科目:心理と教育	PC 必須 認定心理士必須科目 心理学実験 1	5月9日(土)	寺本 渉	4月30日(木)
		5月10日(日)	熊本大学教授	
専門科目:社会と産業	学外研修あり(要保険加入) 水の社会学	5月9日(土)	牧野 厚史	4月30日(木)
		5月10日(日)	熊本大学教授	
専門科目:社会と産業	契約からみる民法	5月16日(土)	濱田 絵美	5月9日(土)
		5月17日(日)	熊本大学准教授	
専門科目:自然と環境	数学と文化	5月17日(日)	宮崎 誓	5月10日(日)
		5月31日(日)	熊本大学名誉教授	
専門科目:人間と文化	社会課題解決学入門	5月23日(土)	水元 豊文	5月16日(土)
		5月24日(日)	熊本大学理事・副学長	
専門科目:自然と環境	New 実験あり(要保険加入) 分子生物学実験：DNAの解析 2	5月23日(土)	谷 時雄	5月16日(土)
		5月24日(日)	熊本大学名誉教授	
専門科目:人間と文化	「マンガ学」入門	5月30日(土)	鈴木 寛之 他3名	5月23日(土)
		5月31日(日)	熊本大学准教授	
基盤科目	PC 必須 ウェブページ作成の基礎	6月6日(土)	久保田 真一郎	5月30日(土)
		6月7日(日)	熊本大学准教授	
専門科目:生活と福祉	がん療養における意思決定支援	6月6日(土)	樋口 有紀	5月30日(土)
		6月7日(日)	前熊本大学助教	
専門科目:心理と教育	認定心理士必須科目 心理学実験 3	6月13日(土)	安村 明	6月6日(土)
		6月20日(土)	熊本大学准教授	
専門科目:人間と文化	New 教科書購入あり はじめての哲学的思考	6月13日(土)	苫野 一徳	6月6日(土)
		6月27日(土)	熊本大学准教授	
専門科目:生活と福祉	こころとからだの薬	6月20日(土)	倉内 祐樹	6月13日(土)
		6月21日(日)	熊本大学准教授	
専門科目:生活と福祉	身体を診る～生命を護るために	7月2日(木)	山内 豊明	6月25日(木)
		7月3日(金)	放送大学教授	
専門科目:生活と福祉 (ライブ Web 授業)	教科書購入あり 食育の現状について考える	6月27日(土)	友寄 博子	6月17日(水)
		7月4日(土)	熊本県立大学教授	

★面接授業情報は、[放送大学ウェブサイト](https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/)→[システム WAKABA](#)→学内リンク「[面接授業\(第1学期\)のページ](#)」

(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>) よりご確認ください。

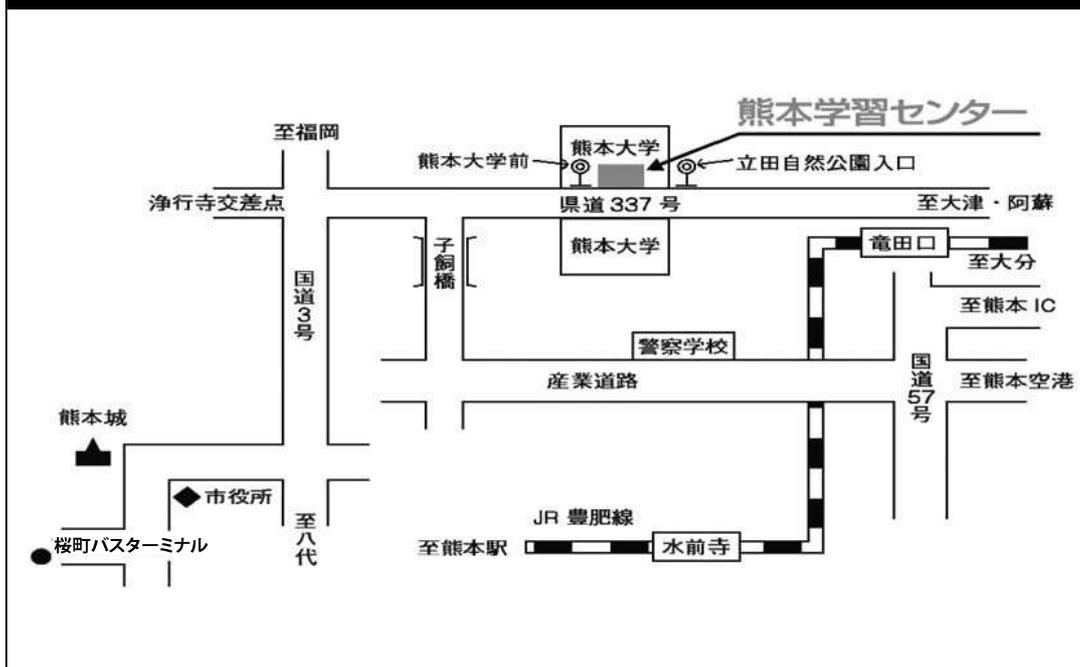
追加登録の申請方法、授業概要や日程変更等のお知らせを見ることができます。

熊本学習センター

(コード：43A)

熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



【所在地】 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2F)

【交通アクセス】

路線等に変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等:2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
- (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等:16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
- 「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分

- (3) 熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

【その他連絡事項】

- ・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトにて、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターウェブサイトにて近隣情報を掲載していますのでそちらを参考にしてください。)
- ・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- ・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2688212	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、解決志向アプローチ（Solution-Focused Approach：SFA）を、初学者にもわかりやすく学びます。SFAは問題の原因よりも、うまくいくきっかけやその人の持つ強さ（リソース）に注目するカウンセリングアプローチです。授業では、座学はもちろんのこと、ペアやグループワークなど体験を通して学び、理解を深めます。代表的な質問技法だけでなく、解決志向アプローチの考え方やものの捉え方を学ぶことで、講義後に自他や様々なことに対して、少し前向きに感じられるようになることを目標にします。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 講義を通し、解決志向アプローチの基本的な考え方と主要技法を理解し、リソースや肯定的な資質を考えられるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 解決志向アプローチとは 第2回 解決志向アプローチの面接の流れ 第3回 リソースやストレングスについて 第4回 様々な質問技法について 第5回 コンプリメントと介入 第6回 解決志向アプローチのメガネ 第7回 解決志向アプローチの実際 第8回 講義の振り返り
科目名	やさしく学ぶ 解決志向アプローチ		【学生へのメッセージ】 本講義では、座学以外に個人やペア、グループでのワークも行います。それらの話し合いや活動が苦手な方もいらっしゃるかもしれませんが。苦手な方は自分のペースで、得意な方は上手にサポートをしていただければ幸いです。ほんのちょっとした気配りで、相互の学びをより深めることにつながると思います。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 東海大学九州キャンパス 学生総合支援室		【参考書】 ・＜森・黒沢のワークショップで学ぶ＞解決志向ブリーフセラピー（森俊夫、黒沢幸子／ほんの森出版／¥1,980／ISBN=9784938874278）
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688271	授 業 概 要	【授業内容】 底知れぬ深淵の海、たざりたつ熱水噴出域、広大な海の砂漠－外洋域、凍てつく氷の海、貧酸素水塊や有害物質の蓄積した海底、人にとっては身近だが水棲生物にとっては過酷な環境である潮間帯・・・様々な極限環境に生息する生き物たち（主に水棲）の多様性や生態について紹介します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 深海や熱水噴出域など、主として水域における様々な極限環境の特徴と、そこに生息する生物の生理・生態・多様性などを理解し、説明することができる。これらの知見を元に、人間にとって「快適な環境」が、他の生物にとっては生息が困難な「極限環境」になりうることも考察し、具体的に説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 深海Ⅰ（深海の定義と生物の生態） 第2回 深海Ⅱ（熱水噴出域と熱水域固有生物） 第3回 外洋－広大な海の砂漠 第4回 閉鎖性海域と貧酸素水塊 第5回 凍てつく海－北極・南極 第6回 水と陸の狭間－潮だまり、苔など 第7回 寄生vs宿主－性の進化 第8回 水平線の彼方には何が待っているのか？ (演者による実際の調査の体験談の紹介)
科目名	極限環境と水棲生物		【学生へのメッセージ】 講義では、各テーマに沿ったDVDなどを鑑賞する予定です。場合によっては講義中に生物標本などをお見せします。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具とメモ帳を用意してください。なお講義中のスライドなどの撮影はご遠慮ください。
担当講師	シマナガ モトヒロ 嶋 永 元 裕 熊本大学 くまもと水循環・減災研究 教育センター教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【その他(特記事項)】 貴重な標本には、こちらが指示しない限り触らないようにお願いします。
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688174	授 業 概 要	【授業内容】 ドイツ語初心者、またはゼロから始めたい方のための授業です。発音を練習し、基礎的な文法を習います。現在のドイツ語圏の社会、経済や政治などの問題をテーマとしたリーディングに挑戦します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 学生はドイツ語の発音を学び、文法と言語の基本的な仕組みを理解する。学生が現代ドイツ語圏の社会、政治や経済などの課題を知り、批判的思考に基づいた文化比較ができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ドイツ語圏の地理 第2回 家族の形 第3回 お金は天下の回り物 第4回 移民と難民 第5回 進展する少子高齢化 第6回 「スイスに死す」 第7回 クリーンエネルギーと持続性の話 第8回 戦争と平和
科目名	現在のドイツ語圏 を見る		【学生へのメッセージ】 各テーマの枠内、発音の練習と文法の説明を行います。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、現在のドイツ語圏の事情について情報を収集しておくことに努めてください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	コイケ ウルストラ ヘレナ 小池 ウルストラ ヘレナ 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を、読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（ミュラー・リヤーの錯視、ワーキングメモリ、心理尺度）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス（心理学実験とは） 第2回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の実施 第3回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 ワーキングメモリ実験の実施 第6回 実験2 ワーキングメモリ実験の結果の整理 第7回 実験3 心理尺度実験の実施 第8回 実験3 心理尺度実験の結果の整理 【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続できるノートパソコンを持参してください。インターネット接続に関しては「受講前の準備学習等」も参考にしてください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・電子媒体でレポート提出してもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	テラモト ワタル 寺本 渉 熊本大学大学院 人文社会科学部教授	
日程実施時間	2026年5月9日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

科目コード	2688220	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、水を介した人と人との関係に焦点をあてて、日本と世界の水の問題を解説します。また、人間社会の側から環境の課題を考える視点についても紹介します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 人々の生活場面を通して水に関する問題を発見し、適切に判断する力を養う。具体的には、水を媒介とした人間関係の変化や、水と人との疎遠化がもたらす問題について、その内容および構造的背景を説明できるようになることを目指す。また、博物館での実習を通じて、一見水と無関係に見える事象が実は水と深く関わっていることを理解する。到達目標は、これらの授業内容を自らの言葉で的確に説明できるようになることである。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 日本と世界の水の環境問題 第2回 アジア途上国の水問題の諸相 第3回 流域社会の現在 第4回 「上流」社会の課題 第5回 博物館で学ぶ水と人との関係(1) 第6回 博物館で学ぶ水と人との関係(2) 第7回 熊本の水から世界の水問題を考える 第8回 水との関係は環境について何を教えるか
科目名	水の社会学		【学生へのメッセージ】 この授業では、水と人との関係について学びながら、最終的に人にとって環境とは何かを理解する授業です。内容としては、環境社会学の入門となります。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 余裕があれば、『入門・環境社会学 現代的課題との関わりで』（牧野厚史・藤村美穂・川田美紀、学文社、2024）を眺めてみてください。イメージがつかめると幸いです。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具を持参ください。 2日目は徒歩移動を伴いますので、歩きやすい服装、靴、帽子等着用してください。
担当講師	マキノ アツシ 牧野 厚史 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 授業はパワーポイントとプリントで進めます。 2日目の授業は、熊本博物館を見学します。 詳細については後日、受講生に案内を送付します。(別途博物館入場料300円が必要です) この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	熊本学習センター 講義室1 および 熊本博物館 (2日目1・2限) (熊本市中央区古京町3-2)		

科目コード	2688239	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、私たちの日常生活に関わる事柄を定めている「民法」という法律について、契約を中心に解説します。具体的には、まず①民法とはどのような法律かという仕組みを概観した上で、②契約の流れ、③誰が契約できるのか、④契約の効果がなくなるのはどのようなときか、ということ学びます。その後、代表的な契約として売買、賃貸借、雇用・請負契約についてそれぞれ学び、契約を通じて私たちが権利と義務を取得する場面について考えます。最後に、消費者問題に関する法律を紹介します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 契約に関わる民法の規定について、条文を参照しながら、具体例を挙げて説明することができる。また、日常生活における契約上の紛争について、法的知識を踏まえて論理的に思考し、解決策を説明することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 民法の構造 第2回 契約の成立・終了 第3回 契約の主体 第4回 契約の無効と取消し 第5回 売買契約 第6回 賃貸借契約 第7回 役務提供型契約 第8回 消費者契約法、まとめ
科目名	契約からみる民法		【学生へのメッセージ】 法律は抽象的に規定されていることから、具体例を挙げて分かりやすく説明します。初めて法律を学ぶ方も遠慮なく受講してください。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	35名		【受講者が当日用意するもの】 授業中、民法の条文が確認できるようにしてください。 ●方法1：書籍の六法をご準備いただく→例えば『ポケット六法』（有斐閣）、『デイリー六法』（三省堂）など、どの出版社のものでもかまいません。ただし、法律は改正されて内容が変わるので、可能であれば最新である【令和8年版】、そうでなくても【令和5年版】以降の新しい書籍をご準備ください。 ●方法2：スマートフォンやタブレット等で条文を確認いただく→事前にインターネットサイトをご確認ください(例：サイト「e-Gov法令検索」)。インターネットを利用する場合、最新の条文を確認できます。
担当講師	ハマダ エミ 濱田 絵美 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【参考書】 ・契約法入門―を兼ねた民法案内(窪田充見/弘文堂/¥2,530/ ISBN=9784335359033) 事前学習の一例として、初めて民法を学ぶ方でも読みやすい参考書です。関心のある方はご一読ください。なお、授業で利用することはないため、購入する必要はありません。
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688280	授 業 概 要	【授業内容】 「小学校は計算」「中学校は文字式・平面図形の論証」「高校は科学を学ぶ基礎科目」と積み重ねてきたと思います。本講義は「数学の面白さ」を伝えるのが目的です。「現代数学とは何か」を理解することが目標です。「大学数学」の見地から数学を学び直し、現代数学の手ほどきをします。講師の専門は「代数」です。「代数的なもの見方」を通して、数学を伝えたいと思います。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 受講者の到達目標は、大学数学のいくつかの話題に対して、きちんと自分の言葉で説明することである。具体的には、「実数とは何か、有理数と無理数の違いを説明できること」「無限集合についての理解を持つこと」「倍数・約数を説明でき、合同式を理解すること」「オイラーの多面体定理を説明できること」「作図問題を代数的にとらえること」を到達目標とする。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 整数・有理数・実数 -0.9999...とは何か、n進数 第2回 集合論入門 -現代集合論に迫る 第3回 合同式と初等整数論 -フェルマーの小定理 第4回 剰余類と中国の剰余定理 -「剰余類」から中国文明の定理へ 第5回 オイラーの多面体定理 -オイラーの業績からプラトン多面体へ 第6回 正多面体群 -正8面体を8色で塗ると何通り? 中間まとめと質疑応答 第7回 作図と正多角形 -正5・6角形は作図可能だが、正7角形は不可能 第8回 ユークリッドの互除法 -有理化のしくみと連分数 総まとめと質疑応答
科目名	数学と文化		【学生へのメッセージ】 「数学のファン獲得」が講師の目標です。大学数学の一端に触れて、現代数学の考え方を話します。各講義は、積み重ねでなく、1・2回の読み切りとして組み立てています。質疑応答などを通して、興味を持つ分野を作っていたとありがたいです。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 高等学校1、2年生の数学の知識があることが望ましいです。講義は「その場で理解する」ことをモットーにしています。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具・ノート
担当講師	ミヤザキ チカシ 宮崎 誓 熊本大学名誉教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688247	授 業 概 要	【授業内容】 皆さんの身の周りに、「この問題、何とかならないかな」という社会課題、いろいろありませんか。ニュースでは聞くものの、当事者としてどう動けばいいのかわからない。そういうことが多くないですか。この授業では、持続可能な社会を共創するために、グローバルないし地域の社会課題を自ら発見するとともに、それらを解くべき課題として再設定し、周りを巻き込みながら解決していく考え方への理解を深めるのを目的とし、地域が抱える社会課題を事例に、グループで考え、議論し、人をまとめていくやり方を学んでいただきたいと思います。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 持続可能な社会を共創するために、グローバルないし地域の社会課題を自ら発見するとともに、それらを解くべき課題として再設定し、周りを巻き込みながら解決していく思考法について理解し、社会課題を当事者として考え、行動できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ロジカルシンキングとアートシンキングの考え方と使い方 第2回 少子高齢化問題 概要 第3回 少子高齢化問題 グループワークとディスカッション 第4回 地域経済・社会の持続可能性問題 概要 第5回 地域経済・社会の持続可能性問題 グループワークとディスカッション 第6回 地域の国際化と多文化共生問題 概要 第7回 地域の国際化と多文化共生問題 グループワークとディスカッション 第8回 まとめ
科目名	社会課題解決学入門		【学生へのメッセージ】 グループワークのやり方については、安斎勇樹・塩瀬孝行『問いのデザイン』学芸出版社を読んでもみることをお勧めします。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 グループワークの素材として使うので、テレビや新聞、ネットで、自分が気になる社会課題に関する記事を5つ選んできてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 グループワークとディスカッションへの取組み状況で評価します。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記具とスマホを持参してください。
担当講師	ミズモト トヨフミ 水元 豊文 熊本大学理事・副学長		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688255	授 業 概 要
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	「マンガ学」入門	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>スズキ ヒロユキ</small> 鈴木 寛之 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授 <small>ヒダカ トシヤス</small> 日高 利泰 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授 <small>イトウ ヒロノリ</small> 伊藤 弘了 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授 <small>イケガワ ヨシヒロ</small> 池川 佳宏 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

【授業内容】

日本のマンガ文化は、戯画や浮世絵・ポンチ絵、諷刺画などを源流とし、海外からの影響を受けながら、戦後の手塚治虫の活躍、月刊・週刊マンガ誌や「少女マンガ」の隆盛、映画やアニメとのコラボなどの歴史を経て、現代日本の文化資源を代表する存在となっています。この授業では、マンガ史におけるさまざまなトピックをとりあげ、マンガ研究の展開についての基本的な内容を把握し、研究史上の方法的特質や研究領域についての理解を深めます。

【到達目標】

授業でとりあげられたトピックを中心として、マンガ研究の展開についての基本的な内容を把握し、研究史の流れをふまえたうえで、新たな課題や研究の視座を提案することができる。

【授業テーマ】

- 第1回 少女マンガのジャンルとしての自立化（日高）
- 第2回 ラブコメの台頭と少年マンガへの広がり（日高）
- 第3回 マンガが映画になるとき（1）-マンガからアニメーション映画へ-（伊藤）
- 第4回 マンガが映画になるとき（2）-マンガから実写映画へ-（伊藤）
- 第5回 手塚治虫とその受容史-「巨人」をどう見るか-（池川）
- 第6回 マンガ雑誌とマンガ産業のビジネスモデル（池川）
- 第7回 少年マンガと「巨人の星」-梶原一騎の時代-（鈴木）
- 第8回 妖怪マンガの系譜-水木しげるの作品世界を中心に-（鈴木）

【学生へのメッセージ】

授業の中で、自分自身の「マンガ」体験について振り返っていただく機会がありますのでご準備をお願いします。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、関連する用語をインターネット等で調べておくなど、自己学習に努めてください。また、講義や討論の内容を踏まえて、改めて作品に触れてみてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び担当講師ごとに実施する課題・レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具をご準備ください。

【教科書】

授業当日に補助教材を配付します。

【参考書】

- ・マンガって何？ マンガでわかるマンガの疑問（京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター 監修・編集／青幻舎／¥1,980／ISBN=9784861529504）

科目コード	2688166	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 もし自分の手でホームページを作成することができて、インターネットを通して公開することができたら、どんなに楽しいことでしょう。 この授業は、ホームページをこれまで作成したことがないあなたに、ウェブページ作成を基礎から学んでいただくためのものです。授業に沿って実際に手を動かして理解していただきます。あなたの手情報公開の確かな力がつくでしょう。
学習センター（コード）	43A	
クラスコード	K	
科目名	ウェブページ作成の基礎	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	クボタ シンイチロウ 久保田 真一郎 熊本大学半導体・デジタル研究教育機構准教授	
日程実施時間	2026年6月6日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 実習室	
授業概要	【到達目標】 HTML（Hyper Text Markup Language）の主要要素についての書式や、HTMLでの画像ファイルの埋め込み方法、ハイパーリンクを設置する方法など、ウェブページ作成に必要な基礎知識を修得する。自分でウェブサイトをセットアップし、文章や画像や動画を組み合わせることで所望のコンテンツを構成し、一般に公開することができる。	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 HTML「ハイパー・テキスト・マークアップ・ランゲージ」 第2回 画像を表示する 第3回 世界から見える書式のHTMLファイルを作る 第4回 「リンク」を張る 第5回 Googleサイトへログインし、これまでのページをサイトで実現する 第6回 GoogleサイトへYouTubeの動画を埋め込む 第7回 Googleサイトの各種機能を使ってみる、自由作品を作る（1） 第8回 自由作品を作る（2）	
授業概要	【学生へのメッセージ】 放送大学のキャンパスメールを使うことができます。人を対象としています。	
授業概要	【受講前の準備学習等】 放送大学のキャンパスメールにログインし、キャンパスメールが使用できることを確認しておいてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続を面接授業の実施前日までにを行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。 また、授業実施前日までは、接続テストをしておくことを強く推奨します。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。	
授業概要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び、自由作品として構築したウェブサイトのURL（アドレス）を共有・提出していただき、ウェブサイト上に授業で学んだ要素が含まれているかどうかを確認して評価します。	
授業概要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ（重要：授業中は、ずっとパソコンを使用します）を持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用します。種類は問いませんが、Chromeブラウザを推奨しますので、可能な限りインストールしておいてください。 テキストエディタを使用します。種類は問いませんが、ほとんどのOSでは最初からインストールされているものがあり、それで十分です。Windowsの「メモ帳」、macOSの「テキストエディット」、ChromeOSの「Text」が相当します。 4. その他 ・Windows11以上、macOS Ventura以上を対象とします。	
授業概要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
授業概要	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2688182	授 業 概 要	【授業内容】 がん療養では、さまざまな場面で意思決定を求められます。我が国のがん医療や看護の現状とともに、意思決定の場面を理解し、意思決定を行う上での視点について理解を深めます。そして、がん療養における意思決定支援について検討します。看護や医療の専門知識がなくても、受講生それぞれの立場で学べるように授業を進めていきます。授業は、講義形式を中心に行いますが、授業中に受講者間の意見交換の時間を設け、学習が深まるようにします。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 1. がん医療やがん治療の動向についての概要を説明することができる。 2. がん療養における意思決定の視点について、説明することができる。 3. 若年がん患者・高齢がん患者・がんゲノム医療に関する意思決定の課題を理解し、具体的な意思決定支援について考えを述べるすることができる。 4. 模擬事例に対して意思決定の課題を明らかにし、具体的な意思決定支援について記述することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 がん医療やがん治療の動向 第2回 がん療養と意思決定1 第3回 がん療養と意思決定2 第4回 若年がん患者の療養における意思決定支援 第5回 がんゲノム医療に関する意思決定支援 第6回 高齢がん患者の療養における意思決定支援1 第7回 高齢がん患者の療養における意思決定支援2 第8回 がん療養における意思決定支援(グループワーク)
科目名	がん療養における意思決定支援		【学生へのメッセージ】 日本では2人に1人はがんに罹患する時代と言われています。自分や、身近な人ががんに罹患した時、一緒に考えていけるよう意思決定支援について学んでみませんか。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
担当講師	ヒグチ ユキ 樋口 有紀 前熊本大学助教		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2679256	授 業 概 要	【授業内容】 心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、囚人のジレンマ、SD法）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理学研究と統計的分析（1） 第2回 心理学研究と統計的分析（2） 第3回 ストループ効果：実験とデータ整理 第4回 ストループ効果：解説とレポートの書き方の説明 第5回 囚人のジレンマ：実験とデータ整理 第6回 囚人のジレンマ：解説とレポートの書き方の説明 第7回 SD法：実験とデータ整理 第8回 SD法：解説とレポートの書き方の説明
科目名	心理学実験3		【学生へのメッセージ】 期日までにレポートを提出してください。実験は基本的に小グループで行いますので、他の受講生と協力して進めてください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を取得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの観点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規、電卓（「√」（ルート）のボタンがあるもの（スマートフォンの電卓機能でも可）、パソコンでレポートを作成したい人はノートパソコンとUSBメモリを持参してください。
担当講師	ヤスムラ アキラ 安村 明 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688263	授 業 概 要	【授業内容】 中高生でも理解できるくらいの平易さで、哲学的思考のエッセンスを学んでいきます。人生の問題を解決するための思考法から、信念対立の克服の仕方、またこれからの社会を構想するための思考法まで、哲学には2500年以上にわたる叡智の蓄積があります。本授業では、その粋を学ぶとともに、さらに哲学的思考の奥義とも言える「本質観取」の哲学対話も体験していただくことで、哲学するとはどういうことかを体得していただきたいと考えています。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 ・哲学的思考のエッセンスを理解し、日常生活に応用できるようになる。 ・本質観取の哲学対話ができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 哲学ってなんだ？ 第2回 哲学的思考の奥義(1) 第3回 哲学的思考の奥義(2) 第4回 哲学対話と本質観取 第5回 本質観取について(1) 第6回 本質観取について(2) 第7回 やってみよう！本質観取(1) 第8回 やってみよう！本質観取(2)
科目名	はじめての哲学的思考		【学生へのメッセージ】 グループディスカッションと全体ディスカッションをメインに行う授業になります。ぜひ積極的に参加して、楽しく、贅沢な、知的興奮に満ちた時間を一緒につくっていただければ幸いです。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 以下の2冊を事前に読み、疑問点や、みんなでディスカッションしたいテーマなどを章ごとにメモしてご参加ください。 1日目：苦野一徳『はじめての哲学的思考』（ちくまプリマー新書、2017年） 2日目：苦野一徳、岩内章太郎、稲垣みどり『本質観取の教科書』（集英社新書、2025年）
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 ・はじめての哲学的思考（苦野一徳／筑摩書房／¥968／ISBN=9784480689818） ・本質観取の教科書（苦野一徳、岩内章太郎、稲垣みどり／集英社／¥1,056／ISBN=9784087213898）
担当講師	トモノ イットク 苦野 一徳 熊本大学大学院 教育学研究科准教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月27日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688190	授 業 概 要	【授業内容】 みなさん、どんな形であれ「薬」と呼ばれるものを使用したことがあると思います。では、そもそも「薬」とはどのようなものなのでしょう？この授業では、特に、“こころ”や“からだ”に効く薬について学び、その有用性や危険性の理解を深めます。将来、どのような「薬」が求められるようになるかについて考えましょう。 授業は講義形式で行い、パワーポイントと配布資料を活用します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 薬がどのようなものか理解し、各疾患に対する治療薬の作用機序を説明することができる。また、薬の危険性について説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「薬」とはどのようなものか？－薬の形、薬の効き方について－ 第2回 「薬」はどのように作用するのか？－薬の作用機序について－ 第3回 からだの薬①－循環器系に作用する薬 (自律神経系の働き、高血圧、不整脈、狭心症)－ 第4回 からだの薬②－代謝系に作用する薬(糖尿病)－ 第5回 こころの薬①－こころとは何か？－ 第6回 こころの薬②－中枢神経系に作用する薬 (うつ、不安、統合失調症、睡眠障害、頭痛、アルツハイマー病)－ 第7回 ちょっと変わった薬－漢方薬、食事、デジタル薬－ 第8回 こころの薬③－中枢神経系に作用する薬(薬物乱用について)－
科目名	こころとからだの薬		【学生へのメッセージ】 自分の“からだ”や“こころ”、そして「薬」に少しでも興味のある方を歓迎します。健康に生きることにについて、一緒に考えましょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 受講生みなさんが理解できるように授業をしますが、専門用語や薬の名前がたくさん出てきます。シラバス内容から、興味のあるキーワード・疾患・治療薬などについて調べ、それがどのようなものかを自分の言葉で説明できるように自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	54名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。
担当講師	クラウチ ユウキ 倉内 祐樹 熊本大学大学院 生命科学研究部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688204	授 業 概 要	【授業内容】 医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、急変時のバイタルサインをどのようにアセスメントとして活かしていくかについて再確認し、生死に直結する呼吸・循環を中心とした実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 生活者を支援する専門職である医療職にとって、前提として「生きている」生命体である「人間」について観察するために不可欠なフィジカルアセスメント能力を振り返ることができる。その上で、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点を理解することができ、生命を護るために有用な実践的なフィジカルアセスメントを身につけることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 急変時のみかた 第4回 意識障害のみかた 第5回 呼吸のみかた 第6回 呼吸の聴診 第7回 循環のみかた 第8回 腹部のみかた
科目名	身体を診る ～生命を護るために		【学生へのメッセージ】 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 (レポート課題) 本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめてください。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤマウチ トヨアキ 山内 豊明 放送大学教授		【参考書】 ・フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる(第2版)(山内豊明/医学書院/¥2,640/ISBN=9784260013840) ・緊急度を見抜く!バイタルサインからの臨床推論(山内豊明/医学書院/¥2,530/ISBN=9784260050326)
日程実施時間	2026年7月2日(木) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年7月3日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

★熊本学習センター【ライブWeb授業】実施科目(43A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4002490	【授業内容】 「食育」はその言葉の認知度が上がってきているものの、捉え方は人それぞれです。本講義では「食育」の基本を学ぶとともに、様々な側面から見た「食育」の現状と課題を整理しつつ、必要とされる「食育」について考えましょう。なお、本講義は熊本を題材として構成しています。 【到達目標】 食育の法的位置付け、実施例や具体的な取り組みおよび概念や方法などの全体像を理解することができる。さらに実施例を具体的に提案し、様々な場面での食育活動を設計し、提案することができる。 【授業テーマ】 第1回 食育とはー食育の基本を食育基本法で確認しましょうー 第2回 家庭における食育ー子供を中心にー 第3回 学校および保育所等の食育ー給食を中心にー 第4回 地域における食育（レポート課題あり） 第5回 生産者から見た食育 第6回 食文化継承と食育 第7回 食品の安全性と食育 第8回 自分にもできる食育を考える 【学生へのメッセージ】 本講座を通して食育の基本を理解していただくことで、自分にもできる食育と一緒に考えていただければと思います。具体的には、講義の中で使用するワークシートに取り組むことで、ご自身の食育を明確にいただき、実践へとつなげるイメージをつかんでいただきたいと考えています。また、具体的な実施例（主に熊本を題材としています。）も示しながら食育のヒントもお伝えしたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して指定の教科書（ウェブサイトからダウンロードした資料）を使い自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容やワークシートなどは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。 なお、レポートの課題（講義で使用するワークシート）は1日目、2日目それぞれで提出いただきます。 課題の提出期限は、以下のとおりとします。 1日目の課題：授業の翌日まで 2日目の課題：授業の当日中 【受講者が当日用意するもの】 配布資料はあらかじめ印刷し、書き込みながら受講することをお勧めします。テキストの代わりにダウンロードした資料（テキスト）を参考にする場合は別途モニター等で確認できるようにしてください。 講義中ワークシートを記載していただきます。期限内に提出できるようにパソコンでの記入をお勧めします。なお、Wordファイルで配布しますので、バージョン指定はありませんが、docx/doc形式のものを使用してください。 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドホン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備してください。 【教科書】 ・令和7年版 食育白書（農林水産省編/日経印刷株式会社/¥2,530/ISBN=9784865794755） ※同じ資料は農林水産省のウェブサイトでも入手可能です。電子媒体の方が良い方はそちらをご利用ください。(https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/r6_wpaper-33.pdf：ウェブサイトでは令和6年版と表記されています。) 冊子体を購入される方は各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。 【その他（特記事項）】 専用システム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。 個人ワーク・グループワーク・発表等の時間を織り交ぜながら、講義を行います。 最終課題（2日目ワークシート）のほかに、1日目の授業中作成したワークシートの提出をしていただく予定です。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	WK	
科目名	★食育の現状について考える	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	20名	
担当講師	トモヨリ ヒロコ 友 寄 博 子 熊本県立大学 環境共生学部教授	
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年7月4日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	